

従業者向け

保育所等訪問支援評価表

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

○ 「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制・環境 整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○			必要物品に関しては訪問時に持参するようにしているが、さらに種類を増やし、いろいろな提案ができるようにしていく必要性はあると考える。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			現状の希望者に関しては待機期間が長すぎることはないため、適切であると考えるが、さらに拡大していくには増員をする必要があると考える。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			事業所内で事例検討等も行っており、PDCAサイクルを用いながら業務改善が行えている。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			今年度より実施したため、業務改善へつなげていきたい。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			定期的に会議を実施しており、意見を把握する機会を設けている
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	第三者評価は実施していない。今後検討していきたい。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			法人内で研修を定期的に行っており、受講する機会を作っている。また外部研修受講の際の補助も行っている。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			事業所でアセスメント表を作成し、保護者を中心にアセスメントを実施している。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童発達支援管理責任者と訪問担当で意見交換を行いながら個別支援計画書を作成している。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			訪問初回時や個別支援計画書更新時に個別支援計画書をお渡しして意見を伺うようにしている。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		児童発達支援管理責任者と訪問担当者の間では共有しているが、担当ではない職員間での共有はあまり行っていない。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			行動観察は行って状況を把握しているが、標準化されたツールに関しては現在使用できていない。今後検討を行っていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			初回時にはアセスメントでの状況把握のための、具体的な内容は少ないが、更新時には行動観察の様子も踏まえ、具体的な内容を記載するように心がけている。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			○	気になる子どもに関しては定期的に事例検討を行っているが、毎回の訪問に関しては担当職員が各自で考えて訪問を実施しているため毎回連携はとれていない。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			○	上記14同様。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			対象の子以外の子どもたちに極力影響が出ないように、訪問先と打ち合わせを行いながら支援を行っている。
	17	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			毎回記録を取ることを徹底し、保護者様・訪問先へも紙面でお渡しするようにしている。
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			定期的な意向の確認やモニタリングを行い個別支援計画書の見直しを行っている。

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			サービス担当者会議には基本的には訪問担当職員が参画するように調整を行っている。
	20	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			必要に応じて連携を行っている。
	21	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			○	移行の際には基本的には園・学校にお任せしているため情報共有は行っていない。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			社内の研修に外部講師を呼んだり、社外の研修の参加費の補助を行って研修に参加してもらっている
	23	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			社内から一人は毎回の会議へ参加するようにしている。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			月に1回程度、事業所に来られた際や電話でフィードバックを行っている。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			年に数回ではあるが、保護者様向けの研修会を実施している。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に丁寧に説明をするようにしている。
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			初めて訪問させていただく施設に対しては事業説明に行くようにしている。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			アセスメントにて意向を確認する機会を設けている。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			お会いする機会は少ないため、電話にて個別支援計画書を説明し、同意を得るようにしている。
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			月に1回程度、事業所に来られた際や電話でフィードバックを行う際に助言と支援を行っている
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			年に数回ではあるが、保護者様向けの研修会を実施して、同時に茶話会を実施することで保護者様同士の交流ができる機会を設けている。またきょうだい会も実施している。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			対応の体制を整備しており、適切に対応できるようにしている。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			SNSを活用しながらハッピーリングの活動を発信するようにしている。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			極力社外へは書類を持ち出さないようにするなど個人情報の取り扱いには留意している。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			落ち着いて話ができるように、保護者様に事前に時間調整を行ってからのフィードバックを実施している。

訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			訪問先の先生方と極力話ができるように時間の調整をしながら訪問を実施している。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			訪問先の先生と調整を行いながら、空き時間や子どもたちが帰宅後の時間を用いて情報交換を行っている。難しい場合には書面でのやり取りを実施している。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			家族へも訪問時の記録を郵送するとともに月に1回程度のフィードバックを実施している。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			先生方とは個室で話をしたり、小声で話をするなど個人情報の取り扱いには留意している。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			訪問先のご迷惑にならないように十分な配慮を行いながら実施している。
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		事業所へ各種マニュアルは置いているが、家族等が来所をすることは少ないため、スタッフのみで実施している。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		スタッフに向けては行っているが、訪問時には訪問先との連携が必要になると考えている。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			事故・虐待防止委員会を社内を設置して、再発防止に向けた方策について検討を行っている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			事故・虐待防止委員会を社内を設置して、再発防止に向けた方策について検討し、研修会も実施している。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		訪問先での支援となるため、身体拘束を行うことはないと考えている。